

チョークペイントの使い方

1. オーク材の木目を際立たせる方法



少量の水を加えてオーク材の木目にいろいろな角度から刷毛で塗りこみ、余分な塗料を拭き取って下さい。最初の拭き取りで半透明の着色仕上がりとなり、再度拭き取りをすると 木目の中に石灰が入り込んだような風合いとなります。 OLD WHITE・PURE・DUCK EGG BLUEはこの処理に適しています。

2. オリジナルカラーの作り方



OLD WHITE や PURE を加える

チョークペイントは柔らかい淡色から明るく濃い色まで32色揃えています。混ぜ合わせても濁りませんので、色の汎用性は無限に広がります。

色を薄くしたい場合、OLD WHITEもしくはPUREを加えます。 OLD HWHITEは色にビンテージ感を、PUREはモダンな印象を与えます。 指を使い軽く塗ったりして、色の大まかな混合割合を試してみてください。

少量の塗料の場合は大きめのスプーンを使い、大量の塗料の場合はカップを使用して下さい。

OLD WHITEとPROVENCEを2:1の割合で混ぜると、フランスの古い色あせた鎧トビラのような、魅力的で柔らかく白っぽく若干古ぼけた青緑色のターコイズ色になります。 PUREを使えば 色はより混ざりけのない鮮明な色になり、1950年代のヴィンテージ感溢れる色になります。

3. 単色テクニック

チョークペイントの単色を塗り、ワックスを塗って研磨します。このテクニックは浮き彫りや彫り物細工の処理に最適です。



4. 2色塗りテクニック

最初の色を塗り終えてから二色目を全体又は一部に塗ってワックスを塗ります。ところどころ目の細かいサンドペーパーでこすり、擦れて塗装が剥げた感じを表現し、アニスローンSOFT WAXを塗りこみます。

5. 床塗りテクニック

床塗装やラッカー塗装には厚塗りを防ぎ効率良く作業をするためにスポンジローラを推奨します。

フローリング床

フローリングにチョークペイントの単色を水で薄めて(ウォッシュ)薄く幕を作ったり、より厚く塗りこんだりします。床全体に塗装する前に、にじみだしがおきないか試し塗りをします。あくが出る場合は塗料を塗る前に布か刷毛でシーラーを2・3回塗ってから塗装して下さい。塗装後ローラーを使ってラッカーを2度塗りして下さい。

コンクリート床

効率を上げるためスポンジやローラーを使用します。(角は刷毛を使用) 全体に塗装し乾燥させます。ローラーを使ってラッカーを2度塗りして下さい。

床掃除の場合、通常清掃は問題ありませんが 日常的な水洗いや漂白洗浄は避けて下さい。水の使用頻度の高い場所では使用しないで下さい。

6. DARK WAXでアンティーク感や質感を作る。

チョークペイントの濃度をあげるためにしばらくの間 塗料の蓋を開けっ放しにしておき、水を加えず少し厚めに塗装します。硬めの刷毛を使って家具全体 四方八方 角度を変えて塗り、凹凸感を出します。余分なワックスを拭き取って表面をドライな感触にします。次にDARK WAXを縦横無尽に塗装面全体の割れ目やきめにこすりつけ、乾いた布で余分なワックスを拭き取ります。DARK WAXが家具についての傷跡や溝を埋めて目立たなくします。CLEAR SOFT WAXで拭き上げて完成です。



6. DARK WAX仕上げ



7. キッチンの塗装

7. キッチンを塗装する。

汚れがある場合には市販の洗剤で汚れを落としてから作業して下さい。
チョークペイントをキッチンキャビネットに塗装する場合は最低2度塗りをし、SOFT WAXを2, 3度塗りつけます。
このSOFT WAXが膜を作り撥水効果を高めますが、アルコールに弱い性質があるので注意が必要です。
市販のウレタン仕上とは違ったソフトな仕上がりのキッチンになります。

8. 自然なひび割れ模様を再現する。

チョークペイントを濃い目にして層状に塗装し(塗装膜が乾燥せず、薄すぎず厚すぎず)、すぐにドライヤーで乾かせばヒビが発生します。ヒビが出来たらCLEAR WAXをぬり、その割れ目にDARK WAXをこすり付けます。表面の余分なDARK WAXを拭き取り、割れ目をくっきりさせます。



6. ひび割れ模様



7. すべすべ仕上げ

9. すべすべ仕上げ。

平らですべすべ仕上げにするためにはチョークペイントに水を少し加えます。水を加えることで塗料が滑らかに塗れます。平らで柔らかい刷毛またはローラーで2度塗りし、SOFT WAXを塗って拭き取ります。光沢のある仕上がりにする場合は、24時間放置したあと更に磨き上げます。

10. 染み出し。

1930年代から1940年代に作られた欧米の家具を塗装する際、最初に塗装した時に塗装面に黄色もしくはピンク色のシミが浮き出す場合があります。何度上塗りしてもシミが浮き出てしまいますので、初めにシーラー塗装でシミ止め処理をして下さい。透明なシーラーを刷毛ではなくパッドで塗装します。

シーラーはすぐに乾くので塗装を始めることができます。

チーク材は油分を多く含むので必ずシーラー塗装が必要です。

11. 1リッター缶あたりの塗装可能面積。



塗装する商品や条件により若干の誤差が出ますが、1リットル缶あたり13㎡塗れます。上の写真はOLD WHITE 1L缶のペイントに少し水を加えて一日で塗装したものです。ステップラダーだけは一度塗りですが、あとの家具は2回塗りして仕上げています。